

文化

2

立川と語ろう 立川に生きよう
February 2007
écoutez bien Vol.25 No.267

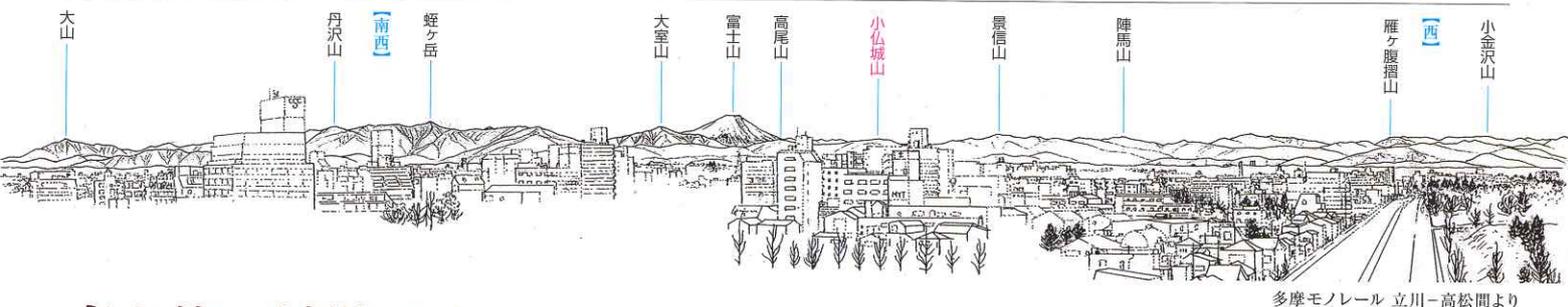


表紙の人／石塚孝江(柏町) 写真／細江英公

小仏城山

670m

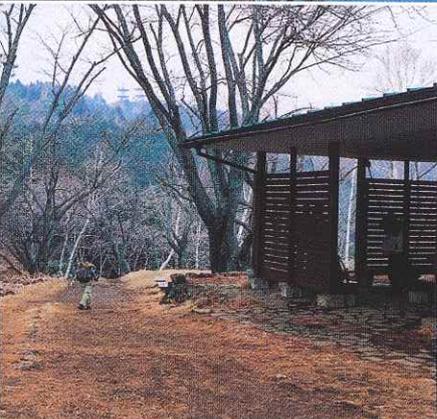
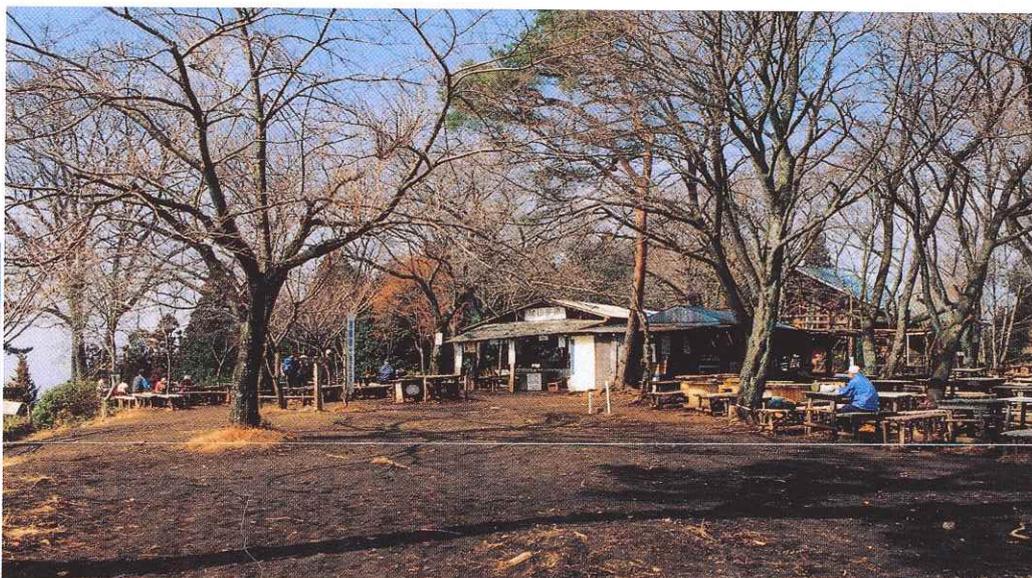
案内人：守屋龍男 写真：中村 伸
山岳展望図：藤本一美



春を待つ城跡の山

【小仏城山へのコース】

1. JR 高尾駅(北口)＝バス＝日影バス停→日影沢林道 1 時間 20 分→小仏城山→往路を戻る
2. 高尾山頂→30 分→一丁平→30 分→小仏城山→20 分→小仏峠→40 分→小仏バス停＝バス＝JR 高尾駅(北口)



小仏城山は立川からよく見える山である。富士山の前景右方にパラボラアンテナを乗せた山が小仏城山である。城山は全国に約300ほどあるので(国土地理院地形図掲載のもの)、区別する意味で地名を頭の部分に付けることが多い。ちなみに付近には八王子城山、戸倉城山などがある。

2月下旬の晴れた日に登った。裏高尾の日影沢林道の中ほどの作業小屋まで車で入り、そこから山腹の細い山道を登り尾根筋に出た。雪が解けどろどろになっており、いささか閉口した。一丁平で小休止。ヒガラの囁きが耳に心地よい。イロハモミジやヤマザクラなどの樹木も枝先が赤くなってきている。春間近といった感じだ。ここからさらに登る。泥道を避けて笹の林床を歩く。最後の急坂を登ると、そこは山頂だ。

戦国時代に北条氏の山城があったと言われる山頂は平坦で帯郭も何本か見え、いかにも城跡といった形状をしている。今は2軒の茶店があり、テーブルや椅子が所狭しと置いてある。近くに大きなパラボラアンテナを付けた無線中継所が2カ所ほどある。

西の方を見ると、期待通り、春霞たなびく上に富士山が優しいが圧倒的な迫力をもって顔を出してくれていた。茶店は平日のためか休み。猫2匹が日溜りで毛づくろいしていた。登山者から餌をもらっているのか、人慣れしている。

下山は形のよい山(無名峰)が立つ東尾根を下ることにした。アップダウンが激しいが、細いがしかりした道が続いている。約1時間で日影沢林道の下の方に出る。なお、このコースは上級者向きであるので、一般には日影沢林道を下る。

ほんのすこしの勇気から



有限会社フラワーガーデン 代表取締役
小澤 みゆきさん

■小澤 みゆき(おざわ・みゆき) / 1999年デザイン会社フラワーガーデンを設立。本業に情熱を燃やす傍ら、日本UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)協会のボランティア助っ人会員に。WEBコンテンツデザイナーとしてのスキルを生かしたボランティアをしたいという考えがきっかけで、国連に絵本プロジェクトが立ち上がり、難民理解のための絵本「ほんのすこしの勇気から」ができあがった。最近輸入雑貨の店をオンライン上に開設し売り上げの一部を寄付したり、チャリティーオークションを開いたり活動の幅は広い。羽衣町出身。実家は化粧品店(OAZAWA)。
■清水恵美子(しみず・えみこ) / えくてびあん編集工房

於：曙町 えくてびあん編集工房で 写真：五来孝平

清水 小澤さんは楽天BtoBのサクセスストーリーにも紹介されたビジネスウーマンですね。仕事の話も面白そうですが、今日はボランティアのお話をお願いします。まず、この絵本「ほんのすこしの勇気から」難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと」が刊行されるまでの経緯を……。

小澤 そうですね、5年ぐらい前に私が国連に1通、ファックスをいれて……。

清水 えっ？ それは自分から？ 突然に？

小澤 そう。私は金銭の寄付ではなくて自分の能力を寄付したくて。それは金銭より価値あるものじゃないかと思うし、他にそう思っている人もいると思う

し。またそういう人が集ればなにか面白いことができるんじゃないかと思って、一緒になにかやりませんか？ っていうファックスを。

清水 そうしたら？

小澤 国連といってもとてもフレンドリーで、それなら是非やりましょうということになって。UNHCRの活動を国内で援助する助っ人会員の中から助っ人講師という制度ができたんです。その助っ人講師の中でプロジェクトを立ち上げて、この絵本プロジェクトが第一弾。

清水 すばらしい本ですね。難民を「難民」という固まりでとらえてしまうと他人事になりがちなんですけれど、この本の中でオレアちゃんのこととして読

んでいくと、急に心を動かされていきます。自分たちと同じなんだって。

小澤 ええ。始めは5000部っていったのが、おかげさまで販売数が3万部になりました。昨年6月には韓国語版も出たんです。この本の印税は全部寄付なんです。本を買ってくださった中からの100円は、ものすごく大きい金額なんです。読んでくださった書店の方たちがポロポロ泣いて、有隣堂さん三省堂さん、オリオン書房さんも「キャンペーン張りますよ！」って。書店の方の力は大きかったですね！ この本がここまで歩き出したのは、泣いてくださった本屋さんの仕入れ担当の方たちのおかげ。

清水 うちの娘に読んで聞かせたら、ポロポロ涙をこぼしていました。

小澤 ジュネーブ本部でも話題になったんですよ。日本で難民理解のための画期的な方法をボランティアが考えついたって記事にして、世界に発信したんです。

清水 難民問題の理解はこれからの世代には必要不可欠だあって思いました。でも、例えば学校の先生にその意識がないとだめでしょう？

小澤 昨年の11月に国連が主催して、この本の感想文コンクールをやったんですよ。400通以上集ったんですけど、先生の指導の差が歴然と表れていて、先生との出会ってすごいことだなあって思いましたね。地域を例にとると、今回の応募の約半数が長野県の学校でした。長野県は国際教育もさかんですね。

清水 東京は？ こんなに学校が……。

小澤 東京は少ないですよ。学校単位で送ってきてくれたのは、豊島区の十文字中学校くらいかな。あとは都内だとガールスカウトの子たち。

清水 それにしても、ではなぜ難民か？

小澤 って、よく聞かれるんですけど。日本にも天災の被害に遭われた人たちとかいるのっていうことですよね？ 実は難民が一番命の危険にさらされている。ナチスの大量虐殺よりずっと多い数の虐殺が今現在あるんですよ。ダルフールのことなんて全然知らないでしょう？ ニュースにもならないし。スーダンでは短期間で数万人殺害されたこともあるんですよ……。

清水 すごいですよね……。世界最悪レベルの人道危機って言われてるスーダンの難民。

小澤 ええ。日本で何かあっても、とりあえず国があるでしょ？ 難民はひとことではいばパスポートのない人たち。国が命を保証してくれない人たちなんです。国境を越えて安全なところへ逃げるといふ手だてがない。緒方貞子さんが「まず生きること。命を助けること。生きてさえいれば彼らには次のチャンスが生まれる」って言ってるんです。

清水 とりあえず暮らせている者には、遠いよその国の話にしかならない……。

小澤 難民問題って、実は女性問題と子供の問題って考えると身近になってくると思うんです。難民でほとんど女性と子供とお年寄り。男性は国に残って殺されちゃうか、強制労働させられるようなケースも多いんです。

清水 じゃ、お母さんたちにこの本を読んでもらったら？

小澤 そう、世界中、子供を思うお母さんの気持ちは同じはずだから。そういえば、絵本を作る時に「日本人が難民になったら」っていう物語を提示したことがあったんです。まったく理解されなかった。日本に戦争は起こらないからこれは意味がわからないって、中学生100人中100人がそう答えましたね。

清水 えっ！ 中学生が？

小澤 そう、だから、まず他人のことでもいいから理解してっていうところから始めないといけないと思ったんです。

清水 それが、オレアちゃん。こういう事実を知らないから、自殺しちゃう子もでてくるのかもしれないですね。

小澤 そうだと思う。生きてることの意味、大切さがわかってないと。

清水 ボランティアって、お金を出せばそれでいいかと言えばそれも違うし、人を出せばいいかといったらそうでもない。相手をよく知って相手の望むことをして……。

小澤 やる側の自己満足なら、いらないですよ。

清水 それでは今の自分に何ができるかということになります。私もさっきから考えてるんですけど……。

小澤 ラジオに出た時にもね、じゃあ何をやったらいいんでしょう？ って聞かれました。難しく考えなくて、急に助っ人講師の勉強をすとかでなくて、周りの隣人の延長に難民がいる。難民は私たちの延長の、必ず何人か先に突き当たる友人。だからまず身近な人にやさしくすればいいんじゃないかなと思います。例えばクラスメイトで元気がない人がいたら「どうしたの？」って声をかけるとか、目の不自由な人がキップを買うのに困っていたら、勇気を出して断られてもいいから「何かお手伝いできませんか？」って。本当に「ほんの少しの勇気から」だと思ってるんですよ。



| | |
|---------------------|-----------------------------|
| ディサービスセンター Aso | 富士見町1-4-29 524-7231 |
| 井尾クリニック | 富士見町1-4-29 540-3299 |
| スーパー 肉のハナマサ | 富士見町1-18-10 548-2970 |
| 手作りケーキの店 プティ・パニエ | 富士見町1-22-30 529-8364 |
| 西立川児童会館 | 富士見町1-23-6 525-0571 |
| さえき 西立食品館 | 富士見町1-23-13 529-5333 |
| (株)ヤマダ電機 | 富士見町1-24-9 526-1099 |
| 株式会社 ダイクマ 立川店 | 富士見町1-24-9 526-1046 |
| 井上レディスクリニック | 富士見町1-26-9 529-0111 |
| 中華レストラン 東華園 | 富士見町1-27-10 529-0458 |
| 榎本調剤薬局 | 富士見町1-31-18 526-2322 |
| フルーツ&ベジタブル 三登屋 | 富士見町1-32-17 522-3021 |
| 有料老人ホーム サンビナス立川 | 富士見町1-33-3 527-8866 |
| 飯塚花店 | 富士見町1-33-5 522-5684 |
| うさぎ専門店 ラッキーラビット | 富士見町2-11-7 524-6054 |
| 一級建築士事務所 株式会社 ホームミー | 富士見町2-12-3 522-2220 |
| カフェ・貸しホール ぱくだん畑 | 富士見町2-12-3F 522-2214 |
| Caf'e Cuisson | 富士見町2-12-7 090-6935-1227 |
| 家庭料理の店 つくし | 富士見町2-12-10 526-6016 |
| 有限会社 白洋舎 | 富士見町2-24-16 522-5952 |

えくてびあんの輪
立川と語ろう 立川に生きよう
えくてびあんは
リストのお店にいつもあります

今月は 富士見町・砂川町・柏町のお店です。

| | |
|-------------------------|----------------------------|
| 波多野米店 | 富士見町2-32-34 522-2884 |
| 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちわり | 富士見町2-36-47-2F 529-8323 |
| 桜井電材株式会社 | 富士見町3-2-13 523-5281 |
| 立川歴史民俗資料館 | 富士見町3-12-34 525-0860 |
| 室内装飾専門店 株式会社 アイアイ | 富士見町4-9-8 522-5972 |
| 多摩信用金庫 富士見町支店 | 富士見町4-9-22 528-1741 |
| 酒 ESPOA おぎの | 富士見町4-17-7 522-4500 |
| 株式会社 立川印刷所 | 富士見町5-6-15 524-3268 |
| SHOP99 立川富士見町店 | 富士見町6-15-3 540-1799 |
| 手打ち もとおか | 富士見町7-16-15 528-2345 |
| JA経済センター 立川店 | 砂川町2-44-3 536-1824 |
| JA東京みどり 立川支店 | 砂川町2-44-3 536-1821 |
| 陶工房 己流庵 | 砂川町3-41-6 537-6102 |
| 多摩信用金庫 砂川支店 | 砂川町4-2-3 535-4411 |
| 山梨中央銀行 立川支店 | 柏町1-16-1 536-0871 |
| 超こつりらーめん パワー軒 | 柏町2-39-46 535-1665 |
| ペーカリー リオンドール | 柏町3-3-5 535-4882 |
| 江戸蕎麦 由庵 | 柏町3-14-2 523-9636 |
| ピーコック 玉川上水店 | 柏町4-1-2 538-3861 |
| 菅家医院 | 柏町4-2-15 536-4602 |

出よ! 明日のチャンピオン

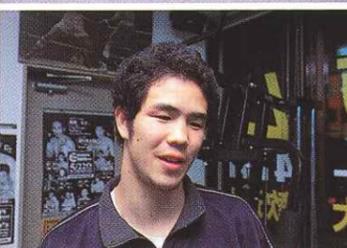
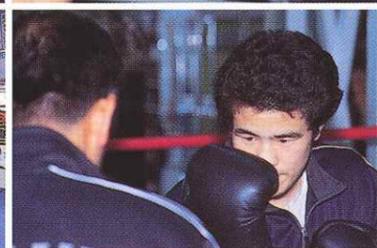
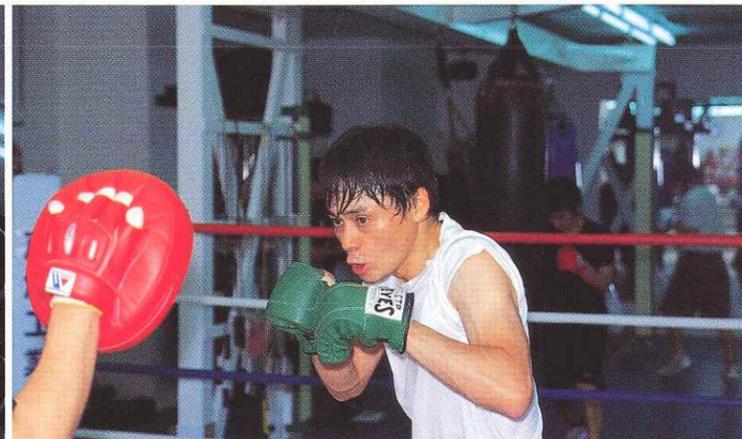
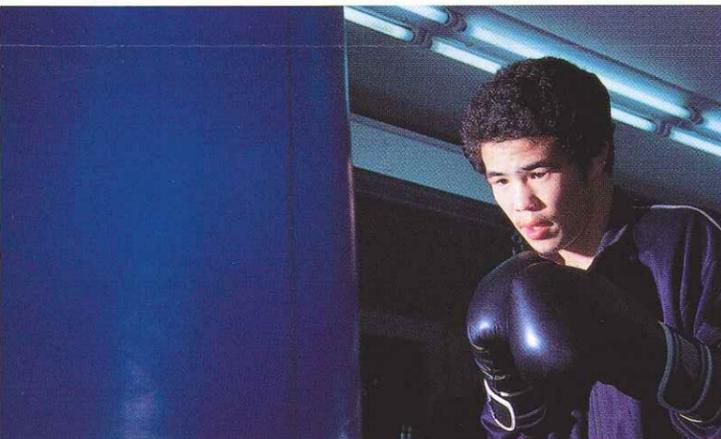
立川に進出した石川ボクシングジム

5人の日本チャンピオンなど多くの選手を育てた多摩の名門ボクシングジム、石川ジムが昨年、昭島市から立川に移転した。

一昨年亡くなった元日本ライト級チャンピオン、

石川圭一初代会長の遺志を継いだ妻の石川久美子会長が先頭に立つ。

立川在住の木村勇大選手が昨年12月にA級入りを決めるなど、立川の地で新たな歴史を刻み始めた。



12月の試合の傷跡が残る木村勇大選手

プロ選手たちの日課はまず計量

立川駅北口にも近い緑川通りに面したビルの3階。毎日午後から夜遅くまで、ボクシングの練習に励む選手たちの姿がある。昨年、42年間住み慣れた昭島から移転した石川ボクシングジムだ。

石川圭一さんが昭島にボクシングジムを開いたのは東京オリンピックのあった1964年。ライト級日本チャンピオン23回の連続防衛記録を持つリック吉村さんをはじめ、日本チャンピオン5人、東洋チャンピオン1人を育てた実績を持つ。石川さんは一昨年5月5日に亡くなったが、生前からジムの立川進出を願っていたといい、妻の久美子さんが会長を引き継ぎ、周囲からの応援も得て、その夢を実現した。

昭島時代からの選手やコーチなどのスタッフ陣のほかに、立川に移ってから入会した会員を加えて現在90人余が所属。プロボクサー志望を含む一般練習生のほか、エンジョイボクシング、キッズボクシング、女性など、会員は小学生から50代までと幅広い。

スーパーフェザー級の木村勇大さんは、立川在住の大学生。12月5日、後楽園ホールで行われた6回戦を判定で制し、ランキングに入るA級入りを果たした。ジム所属の現役選手では同階級の真鍋圭太選手に続いて二人目、立川移転後では初のA級選手誕生となった。

木村さんがボクシングを始めたのは高校入学前。昭島のジムに通いながら高校3年でプロ試験に合格し、大学を卒業してもボクシングを中心に生きていこうと決めている。毎朝のロードワークで足腰を鍛え、夕方からジムで2、3時間たっぷりトレーニングに励む。ふだん60数キロの体重を試合前には階級上限の59キロ弱まで落す減量もある。

ジムのアイドル、ボメラニアン犬の「マッチ」が見守るジムは、会長を中心に和気あいあいとした雰囲気だが、サンドバッグに向かったり、リング上でミット打ちやスパーリングに打ち込む木村さんたちの表情は、未来の日本、いや前会長のもうひとつの夢でもあった世界チャンピオンを目指す、ボクサーそのものだ。



ジム犬「マッチ」はタイトルマッチから

写真: 五来孝平

石川ボクシングジム

立川市曙町2-18-17 町田ビル3F

電話: 042-541-4141

ホームページ:

<http://www.007.upp.so-net.ne.jp/ishikawaboxing/>

立川と多摩地域が
もっと楽しいホームページ

多摩ではこ
ネット

http://www.tamatebako-net.ne.jp/

多摩ではこネット編集工房
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609
e-mail message@tamatebako-net.ne.jp

常楽我浄

真如苑提供番組くじうらくがじょう

スカパーブロードキャスト 216ch、マイテレビ 84ch

土 曜 午前9時～9時15分
午後7時15分～7時30分
再放送/火曜 午前9時～9時15分
午後7時45分～8時
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて七十一一年

真如苑
柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

JTB

For Your Travel & Life
世界をつなぐ旅と心

株式会社JTB法人東京 西東京支店
〒190-0012 立川市曙町2-42-1 パークアベニュー8F
営業時間：09:30～17:30 (土・日・祝日休業)

組織旅行・グループ旅行・研修旅行のご相談は
TEL:042-521-5550 FAX:042-521-5558

海外・国内個人旅行のご相談は
TEL:042-521-5585 FAX:042-521-5588

大廣社は今、「知的集約」型企業を実践しています。

伝達を使命とする情報産業の一翼を担う大廣社は、新しい時代の新しい表現を担うために、クリエイティブから最終製品にいたるまでの一貫体制を構築しています。

先進のシステムと最新技術との融合

株式会社 大廣社
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13
tel. 042-527-1911
fax 042-527-1949
E-mail info@daikousya.jp
http://www.daikousya.jp/index.html

えくてびあん流

吉例〈ベスト立川人・展〉開催

新春恒例のえくてびあん〈ベスト立川人・展〉を今年も開催いたします。この一年えくてびあんに登場していただいた方たちを一挙紹介する写真展です。毎号表紙を飾った立川人をオリジナルプリントでご覧いただく〈写真家・細江英公「えくてびあん表紙の人・展」〉、対談・VIEWにご登場いただいた方々。人がいて、立川は今日も明日も元気です。ご来場くださった方々には、

「この人・この店」登場店を掲載した別冊特集号〈イヤーブック〉をお配りします。立川のすてきなお店をカラーでお楽しみください。

第22回「ベスト立川人・展」

平成19年2月6日(火)～11日(祝)
午前10時～午後7時 最終日は午後5時で終了。
会場 立川市女性総合センター・アイム1Fギャラリー

「エジプトの現在」2月15日 第3回 応現院文化講演会開催

応現院文化講演会実行委員会では、昨春落慶した真如苑の寺院「応現院」を広く一般市民の文化交流の場として利用してもらおうと、「応現院文化講演会」を開催している。本年も2月15日に「第3回 応現院文化講演会」が開かれる。今回の講師は駐日エジプト・アラブ共和国特命全権大使 ヒシャム・モハメッド・モスタファ・パドル氏。聴講希望の方は往復はがきで申し込む。先着順で定員は1300名(中継会場含む)。応募要項は右記の通り。

主催：応現院文化講演会実行委員会
後援：立川商工会議所、立川観光協会、立川バス株式会社
協力：株式会社精神文化映像社、えくてびあん、多摩ではこネット
協賛：真如苑

【申込】住所・氏名・年齢・電話番号・希望人数(本人を含めて3名まで)を明記し、往復はがきにて申込先に郵送。
【申込先】応現院文化講演会実行委員会事務局(えくてびあん内)
〒190-0012 立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
電話 042-523-9898

【締切】2月1日(木) 必着 入場無料(中学生以上)
/先着700名(メイン会場)・600名(中継会場)
※返信葉書で結果をご通知します。



ヒシャム・モハメッド・モスタファ・パドル氏

第3回 応現院文化講演会

「エジプトの現在」
駐日エジプト・アラブ共和国特命全権大使
ヒシャム・モハメッド・モスタファ・パドル氏
平成19年2月15日(木) 午後3時開演
(午後2時開場。講演は約1時間半)
会場：応現院 3F (立川市泉町935-27)

この人この店 ④

エスポアおぎの

荻野博之さん

以前本誌(VIEW)でご紹介したワインアドバイザー日本一 荻野博之さんのお店が、ここ富士見町は奥多摩街道沿いにあります。2月から開講の和飲学園も6年目、11期を迎えました。ぶどうの種類や産地などワインの基本から教えてください。秋にはお客様と巡る〈第2回フランスワイナリーツアー〉。今回はアルザス、シャンパーニュ、ロワールとフランスを東から西へ移動するとか。そんな豪華な旅には行かない。他にもっと手軽にワインを楽しむコースは? 「年7～8回行ってるワイン会。おいしい食事とワインを楽しみます。普通はレストランに行っても2種類ぐらいのワインしか飲めないでしょ? でも、ここなら少なくとも7種類は味わえるんだから、お得です。」確かに。ワインに理屈を言わない荻野さん。予算と好みを伝えれば、出てくるワインは間違いなし。さすがワインアドバイザー日本一。



〒190-0013
立川市富士見町4-17-7
TEL 042-522-4500
営業時間 10:00～21:00
定休日 火・水曜日



写真撮影：五来孝平

たすかわ散歩道 ⑦

高松七軒家から南砂川・栄緑地を歩く

芋久保分水と飛行場引込み線の幻影

挿絵と文 ■ 森 信保

今回のコースは、高松の七軒家(柴崎新田)、南砂川の芋窪・八軒と呼ばれた新田が芋久保分水に沿って開拓された流域をたどりながら、高松・栄町南部方面から立川駅南口までを歩く。

モノレールの高松駅①を降り北の信号を東方向へ。江戸中期、七軒の農家の人々によって新田開発されたことから「七軒家」②と呼ばれたところで、開墾時の集落は道の北側に家が並び、南には玉川上水からの芋久保分水が流れていた。当時の面影は残っていないが、新田開発に大きな役割を果たした「芋久保分水路の跡」の碑が建てられている。道の右奥には飛行場拡張などにより移転してきた「熊野神社」③がある。高松町周辺の鎮守様として夏には盛大な祭礼があり多くの人に親しまれている。熊野神社北側から「高松バイパス」を横断し東に進むと、戦後南北に作られた「高松新道」の交差点。道路わきに残る2本の大ケヤキが開墾当時からの時代の流れを伝えている。

「芋久保分水」の流水路は、この付近から旧立川村・旧砂川村の境界道路に沿いながら流れ④、さらに進むと旧両村を結ぶ「北立川」(橋場)の大通りへと出た。「立川大通り」の交差点を渡り、三叉路を右折して「高木通り」(国分寺市)を途中で右に入り、畑中を抜けてクボから弁天川に合流して国立方向に流れていた。終戦前まで利用されていた。



行程 ① 高松駅(モノレール)→② 七軒家(柴崎新田)→③ 熊野神社→④ 南砂川(芋窪新田・八軒新田)→⑤ 栄緑地→⑥ 旧日野道→⑦ 錦町→⑧ 立川駅南口

表紙の人

石塚 孝江さん(柏町)

俳誌「河」同人の俳人であり、ボランティアで俳句の指導にもあたる。ここ数年、ご本人も楽しみながら指導しているのは、市立四中の子どもたちを連れて、江戸時代の農家をそのまま移築して保存している古民家園で行っている吟行会だ。隣接する川越道緑地の雑木林と田舎裏のある茅葺きの農家に触発された中学生たちの若々しい感性に驚かされるとおっしゃる。古民家の縁側に腰掛けていただくと、石塚さんご自身もみずみずしい詩ごころを呼吸しているようである。

立川市古民家園 小林家住宅で
写真：細江英公



かたこと

新しい年が明けたと思ったら早くも2月号をお届けする時期▼舞台裏を明かせば、本欄を書いているのはまだ前年の暮れなのですが、定期刊物の季節感はいつものかなり早い▼2月に入れば節分、立春と厳しい寒さのなか春の足音が聴こえてきます▼春を待つ心は人間のみにならず動物や植物も同じですが、人間でありながら住み慣れた土地を追われ生命の危険にさらされている方たちは、どんなにつらいでしょう▼対談をお願いした小澤みゆきさんは、国連難民高等弁務官事務所の難民支援事業のためにできる協力をしようと活動しています▼わたしたちがこの国でごく普通に暮らしていることが、世界中の恵まれない人々から見たら夢のような贅沢。その方たちのために、まず自分にできることをする。大切なことだと思います▼春の芽生えを待つ草木のように夢に向けてがんばる若い人たちがいます。ボクシングという厳しいスポーツの世界で日本を、さらに世界を目指す若者たちがいるジムをVIEWで取り上げました▼立川に住む木村勇大さんもそこでボクシングに青春を賭けている一人。ふだんは、まだあどけないといっている穏やかな青年が、リングの上では精悍な動物のように感じられるから不思議です。(芳)

スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMNET design factory
写真 五来孝平/中村 伸

えくてびあん (C) 2月号

第25巻 通巻267号
平成19年2月1日発行
発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
編集人 芳賀敬博
発行人 加賀悦也
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

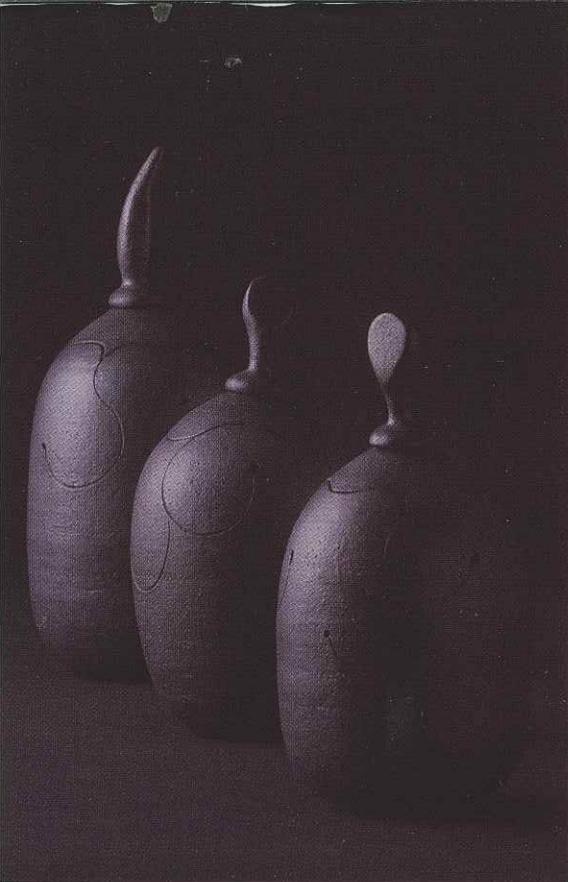
やきものごころ

立川の女性陶芸家 1

伊藤友紀さん（砂川町）①

この五角台皿は円を正五角形に切り取り外側を折り込むようになっていきます。作品のアイディアはたいがい夜、灯りを消して横になって浮かぶんです。イメージをノートにスケッチしておきますが、実際に作ってみると全然ダメなこともある。最後は

やはり手で考えている。技法的に手間のかかることもありますが、かたや色、風合いを見ていただければいいんです。結果的に大変でも作ることは楽しいし、食卓や生活に楽しさや広がりを感じてもらいたく作っているんですから……。



〔飾蓋付花器〕

写真：五来孝平



伊藤友紀

いとう ゆき

東京都杉並区生まれ。立川で作家として活動を始め、現在は夫・光則さんと埼玉県所沢市にアトリエ「陶八陶房」を構える。日本クラフト展、朝日現代クラフト展など多くの公募展で入選・入賞のほか全国で展覧会を開いている。

〔五角台皿〕

